

JFFID 2023 日本代表強化合宿 [11月開催]

報告者：日本代表監督 西 真一

1 日時・場所

期間：2023年11月23日（木）祝～26日（日）

場所：ビーラインフットボールセンター始良（鹿児島県始良市）

2 強化合宿の目的

アルゼンチン代表との国際マッチに向けたチーム強化

3 スケジュール

期日	午前	午後	夜
11月23日（木）祝	集合	フィジカルチェック トレーニング	ミーティング
11月24日（金）	トレーニング	トレーニング	ミーティング
11月25日（土）	トレーニング	トレーニングマッチ	ミーティング
11月26日（日）	トレーニングマッチ	解散	

4 スタッフ・選手

スタッフ：6名

選手：21名（※うちトレーニングパートナー4名）

5 トレーニング・ミーティング及びゲーム

【40m走】

【クランク走】

【YO-YO】間欠性回復力 level 1

【攻撃】ポゼッション

- ・パス&コントロール&サポート&ターン、4vs4+3F、6vs6+2S、ゲーム

【守備】前線・中盤・ゴール前

- ・パス&コントロール、3vs3+2J、11vs11（1way）、ゲーム

【攻撃】ビルドアップ・前線の崩し

- ・パス&コントロール、5vs4（左右）、中央のコンビネーション、サイドのコンビネーションゲーム

【セットプレー】

- ・コーナー（攻）

【GK】

- ・技術の発揮（シュートストップ・ポジショニング・ダイビング 等）
- ・ゲームにおける実践力（ビルドアップ・声・ポジショニング 等）
- ・GKとしての姿勢（気構え・責任感・声 等）

【ミーティング】

- ・日本代表プレーモデル
- ・フィジカルテスト振り返り、レクチャー
- ・TRM 振り返り
- ・オフザピッチレクチャー（JPC インテグリティ研修会、食事に関して、アルゼンチン遠征）

【トレーニングマッチ】 ※別途マッチレポート

11/25（土） vs KAJIKI FC（九州社会人リーグ） 45分ゲーム×2

1セット JFFID 日本代表 1-1 KAJIKI FC（45分）

（J）得点者：梅村

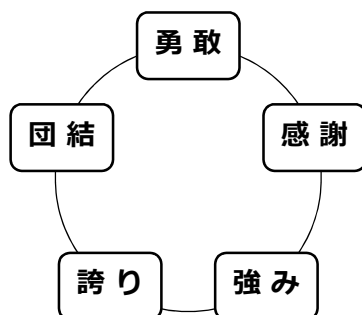
2セット JFFID 日本代表 0-6 KAJIKI FC（45分）

11/26（日） vs NIFS KANOYA（九州社会人リーグ） 45分ゲーム×2

1セット JFFID 日本代表 0-4 NIFS KANOYA（45分）

2セット JFFID 日本代表 0-6 NIFS KANOYA（45分）

6 JFFID 日本代表IDENTITY



日本代表、それは夢の舞台で躍動する集団
日本人である誇りと個々の強みを持ち
日本の勝利のために覚悟し、それを団結する
すべての関わりに感謝し、勇敢に世界に挑む。

7 総括

12月中旬に行われるアルゼンチン代表との国際マッチに向けたチーム強化を目的として実施しました。4月末以来の合宿でありましたが、多くの選手は各地域でのリーグ戦やトレセン、全国障害者スポーツ大会など、継続した活動を踏まえたなかでの合宿となりました。

初日のフィジカルテストは、前回合宿時の数値と比べると全体的に下がっており、数値のみで判断すると全体的によいコンディションではなかったと捉えています。選手個々の活動状況をみますと、年間を通じたトレーニングと試合がある選手、日常でのトレーニングと試合が不足気味の選手の2つに分類ができるかと思えます。

成果と課題については以下のとおりです。

【成果】チームとしての攻撃・守備・セットプレーの戦術の共有

【課題】（攻）判断を伴ったパスの質（受け手の状況把握・パススピード・パスを付ける足）

（攻）サポートの質（ボール状況・他の味方選手を観る・関わり続ける）

（守）良いポジションをとり続ける（ボール状況・1人で相手選手を2.3人みれるように）・アプローチの強度

（守）粘り強い守備（チャレンジと対応のバランス、プレスバック、サイドプレス）

（切）切り替えの速さ（予測、攻撃と守備のシームレス化）

合宿終盤に行った社会人の九州リーグに所属するチームとのTRMマッチレポートは別途ご覧ください。対戦した2チームは、プレーの質、プレースピード・強度は世界を相手とする日本代表チームにとって、世界基準をシミュレーションするにはとても良い相手でした。そのなかで、日本の右SBは相手のスピードとテクニックにしっかり対応しレベルの高さを示していました。一方、全体として相手の素早いアプローチを無効化するパススピードと質については次への課題です。また、世界基準ではありませんが対戦チームが可変するシステムで選手の出入りが複雑におこなわれたことにより日本選手は混乱し、その状況でも良いポジションをとり続けようとするトライはありましたが、少しのポジション修正、マークをみれずにアプローチが不能となったことは更なる課題です。

12月20日（水）、22日（金）の2回、アルゼンチン代表と試合を行います。

これまで、「世界を日常に」と意識しトレーニングしてきたことを、選手が恐れずにトライすること、そしてトライ&エラーにより更なる変化（修正）をしていくことが本当の力になりますので、良い準備をして臨みたいと思います。

最後になりますが、合宿地である鹿児島県・始良市・JAあいら様より選手への激励と特産品の贈呈をしていただきました。また、選手を送り出してくださいました各地域の技術委員及び指導者等、関わる全ての皆様に心から御礼を申し上げます。引き続き代表活動にご理解とご協力をお願いいたします。ありがとうございました。

